

# Who can be a Representative? Engendering Legislative Bodies

Lessons from the French Historical and Political Context

## フランスの政治と議会史からみる 立法府のジェンダー化

ヨーロッパの近代国家は、市民に選ばれた代表が統治する議会制民主主義という政治システムを生み出した。しかし、市民に選ばれる「代表」とは誰なのか？なぜ女性  
は民主主義の象徴である「代表」から事実上排除されてきたのか？20世紀末から議  
会に女性を増やすために導入されたクオータ制度はヨーロッパ議会を脱男性化する  
ことに成功したのか？ヨーロッパ議会の歴史とクオータをめぐる議論から探りたい。

研究報告 Presentation

デルフィーヌ・ガルディ Delphine Gardey (IGS 特別招聘教授/ジュネーブ大学教授)  
エレオノール・レピナール Eléonore Lépinard (ローザンヌ大学准教授)

コメント Commentary

三浦まり Mari Miura (上智大学教授)  
村上彩佳 Ayaka Murakami (日本学術振興会特別研究員 PD・上智大学)

司会 Moderator

申 琪榮 Ki-young Shin (IGS 准教授)

\*日英同時通訳あり

【申込フォーム】  
要事前申込 (入場無料)  
Prior registration required  
(Admission Free)



2019年 **1月21日** (月) 18:15~20:30

お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科棟 604

Monday, 21 January 2019 18:15-20:45

#604, Graduate School of Humanities & Sciences Building, Ochanomizu University

議  
員  
に  
な  
れ  
る  
の  
は  
誰  
な  
の  
か  
?